

「偕楽園公園の魅力向上を考える」

水戸市の日本遺産と観光への提言

平成 30 年 4 月

偕楽園公園を愛する市民の会

会 長 湊 正 雄

魅 力 向 上 委 員 会

目 次

I. 本会の概要	… 1
II. 提言目的	… 1
III. 提言内容 (アンケート項目順)	… 3
1. あなたの偕楽園(本園)の好きなところは、どういう所ですか?	… 3
2. あなたの偕楽園公園の魅力とは、何ですか?	… 3
3. 偕楽園公園内を走る鉄道(常磐線)や道路を、どう思いますか?	… 4
4. 偕楽園の景観・借景公園の現状を、どう思いますか?	… 5
〜〜〜(見下ろす景観・見上げる景観)〜〜〜	
5. 各エリアに分けて、意見・要望をお書きください。	… 6
④: 偕楽園(本園)エリア	… 6
A: 偕楽園(拡張部)エリア	…20
(田鶴鳴梅林・四季の原など)	
B: 千波公園(市)エリア	…23
(千波湖・周回ジョギングコース・黄門像広場)	
C: 千波公園(市)エリア	…25
(少年の森・ハナミズキ広場・テニスコート・西の谷)	
C: 千波公園(県)(近代美術館・文化センター周辺)	…27
D: 桜川緑地エリア	…28
E: 沢渡川緑地エリア	…28
F: 逆川緑地エリア	…30
G: 紀州堀緑地エリア	…30
H: 東町運動公園エリア	…32
I: その他(県立近代美術館・文化センター等)	…33
J: 偕楽園公園の回遊について	…33
K: 全体について	…33
L: 観光について	…34
M: 水戸の観光について	…35
N: その他	…38
IV. まとめ	…40
資 料	
大正～昭和の記録写真 色々	
常磐公園攬勝図誌より 風景図	
偕楽園の魅力・水戸の四季・今の好文亭表門・桜山	

I. 本会の概要

- (1) (名称) 「偕楽園公園を愛する市民の会」
- (2) (会の目的) この会は、茨城県民の誇りである偕楽園公園と弘道館の歴史と自然を学び、風致と梅を守り、後代に伝えると共に、新しい魅力を創出することを目的とする。
- (3) (事業・活動) 目的を達成するため次の事業を行う。
 1. 偕楽園公園の歴史と自然についての学習・研究
 2. 偕楽園公園の自然環境の保護・管理への協力
 3. 偕楽園・弘道館の文化遺産としての伝承と新しい魅力の創造
 4. 大名庭園の保存会など市民団体との交流
 5. 会報の発行及び会員間の交流
 6. その他、本会の目的を達成するための必要な事業
- (4) (委員会) この会の運営に必要な委員会をおく。
 - 1) **【魅力向上委員会】**

偕楽園公園・弘道館の文化遺産としての魅力向上の提言と「偕楽園公園をさらに充実した都市公園にしよう」具体化のための市民運動の展開を行います。

偕楽園・千波湖とその周辺環境整備の具体化への提言／千波湖浄化への市民運動の参加／花パートナーの継続
 - 2) **【論語委員会】**

毎月第一土曜日弘道館で開講
冬季は、水戸生涯学習センターを利用する。
 - 3) **【研修委員会】**

偕楽園公園の歴史と自然についての学習を継続／ 広報誌の発行／ホームページの更新／「偕楽園なんでも百科」の改訂と増刷・普及
 - 4) **【交流委員会】**

大名庭園サミットへの参加／会員交流（偕楽園ウォークへの参加）／他団体との交流

II. 提言目的

魅力向上委員会では、研修・学習会を実施し、公園の現状・整備状況を学んできました。日本遺産に認定された偕楽園公園の魅力をもっと向上できるのではないかと、会員や来園者・地域住民より意見を聞き、内容について委員会で検証しアンケート順に紹介しながら、偕楽園公園のエリアごとに重要・優先・要望・意見に分け項目を付けて提言を作成し報告します

ので、今後の「水戸市の観光」と「偕楽園公園の魅力向上」に役立てばと思います。

※重要/優先度の表示【 重要:◎◎, 優先:◎, 要望:○, 意見:● 】

偕楽園公園

- ①:偕楽園エリア(本園) ・ A:偕楽園エリア(拡張部) ・ B:千波公園エリア(市)
- C:千波公園エリア(県) ・ D:桜川緑地エリア ・ E:沢渡川緑地エリア
- F:逆川緑地エリア ・ G:紀州堀緑地エリア ・ H:東町運動公園エリア
- I:その他(文化センター等) ・ J:公園の回遊について ・ K:全体について
- L:観光について ・ M:水戸の観光について ・ N:その他 …以上

偕楽園公園の整備・管理区域図 (H26.4 現在)



偕楽園公園のゾーニングマップ区分
大区分 (区域・用途・施設名称)

大区分	計画	実態	[H26.4 現在]	
			中区分	(施設等内容)
A: 偕楽園	63.3	53.0	- 本園・常盤神社・鉄砲場	
B: 千波公園(市)	79.1	73.4	- 千波湖・周回ジョギングコース・角門虎成塔	
C: 千波公園(県)	6.4	6.4	- 少年の森・ひなみズキ成塔・テニスコート・グートボール場	
D: 桜川緑地(県)	46.7	7.0	- 桜川・単層湿地保存地域	
E: 沢渡川緑地(県)	13.7	7.4	- 沢渡川・単層湿地保存地域	
F: 逆川緑地(県)	32.3	13.3	- 菅原水遣・水戸神社	
G: 紀州堀緑地(市)	1.5	1.5		
H: 東町運動公園(県)	4.3	4.6		
I: その他(文化C等)	46.2	46.2	- 県民文化センター・近代美術館	
合計	300.0	213.3		

Ⅲ. 提言内容

(アンケート項目順)

1. あなたの借楽園(本園)の好きなところは、どういう所ですか？

- ① 梅林・好文亭からの眺望
- ② 表門から入って、大杉林・竹林を通過の暗と梅林・見晴し広場の明が設定されたところ
- ③ 自然が多いところ
- ④ 梅林と好文亭
- ⑤ 好文亭前の広々とした芝生
- ⑥ 自然を生かした造り、1年中楽しめる
- ⑦ 人工的でないところ
- ⑧ 借景として千波湖があるところ
- ⑨ 気軽にいつでも入れるところ
- ⑩ 景観、特に緑が美しい。広大な敷地
- ⑪ 借景が良い、三段の高低差で、高さの変化で景色を堪能できる
- ⑫ 四季折々の草花、無料開放（江戸時代から）、弘道館と一対の教育施設である
- ⑬ 烈公のお手元金で作ったこと
- ⑭ 緑の多い景観（梅林・竹林・杉林など、他）
- ⑮ 表門から好文亭中門に至る道
- ⑯ 史跡名勝の変わらないところ
- ⑰ 市街地よりわずかなところ(十数分)に雄大な自然が借景としてあり、借楽園本園と周辺景色が一体となった公園であること
(本園内だけの整備でなく、拡張部においても本園から見下ろす景観、借楽園の好文亭を見上げる景観に配慮した、整備が必要)

2. あなたの借楽園公園の魅力とは、何ですか？

- ① 千波湖を借景とした公園
- ② 借景・高低差のある見通しのいいところ
- ③ 梅の他、四季折々の花がいつでも楽しめる。
- ④ 梅の古木と竹林
- ⑤ 景観の美しさと千波湖周辺のにぎわい（健康指向者が特に）
- ⑥ 平時は公園で、戦時は出城の工夫があるところ。眺めの良さ
- ⑦ 市の中心部にあり、利便性が良い。
- ⑧ 陰と陽の世界、庶民的なところ、無料にこだわりぶれないところ、造園

的でないところ

- ⑨ 河岸段丘内の低地に当たる河川敷に、千波湖や水田があった。対岸の斜面緑地や遠方の筑波山富士山などの山々まで見通せた景観に「水戸八景・僊湖暮雪」、偕楽園の借景公園があるのではないか。個々のエリアの魅力と、好文亭が見える魅力(見上げる魅力)を失わないでほしい。

3. 偕楽園公園内を走る鉄道(常磐線)や道路を、どう思いますか？

- ① 全国的にも珍しいと思うが周辺施設等を偕楽園にマッチしたものにする
とよいと思う。
- ② 公園へのアクセスを良くすれば、もっと有機的につながる
- ③ 車窓からの景観が良かった。今は線路や道路を隠すように、路線に沿って
植栽されていて残念
- ④ 列車のスレル音(レール)が気になる。
- ⑤ 道案内を分かり易く⇒道の方向でなく目的地の方向もわかるように
- ⑥ 公園内を楽しむ人のためにはうるさくて良くないが、常磐線で旅する人
にとっては楽しみな車窓風景だ。
- ⑦ 他では、あまりないので、むしろよいこと思う。
- ⑧ 景色の中に取り込んでいるので、良いのではないか。
- ⑨ 敷設された鉄道はどうしようもない。
- ⑩ 特に思わない。
- ⑪ 残念です。土地を提供された方には申し訳ございませんが、景色(借景)
の中に大型バスの乗降所が出来たため景色が見苦しく、緑化フェア前の
東町運動公園や町なか駐車をお願いしたい。町なかから表門の入園を誘
導してほしい。駐車場を郊外にしたシャトルバスの運行を検討願う。
- ⑫ 鉄道ファンにとっては、良いアングルではないか。
- ⑬ 公園内に鉄道や道路があることを、売りにして車窓からの景観を楽しめ
る整備が必要だ。現在の整備状況は、邪魔者として線路や道路に沿って
植栽し、電車や車が見えない様に目隠しをしている。今までの見通せる
景観に戻したい。隠すのではなく景観に配慮し、電車の電柱を目立たな
い色の物に、また道路の案内板・信号機・ガードレールなど、景観に配慮し
た色合い・構造にすることで、公園内の鉄道・道路の車窓も楽しめる公
園にしたい。
- ⑭ 偕楽園公園内の意識を持つために、速度規制をする。急がず景色を楽し
み、管理者は、偕楽園公園の中という意識の中で景観を踏まえた整備・
管理を進めてほしい。

4. 偕楽園の景観・借景公園の現状を、どう思いますか？

～～～（見下ろす景観・見上げる景観）～～～

- ① 兼六園・後楽園などは回遊式で小さな池をもつ公園であるが、それに代わる千波湖を借景とする自然的公園は素晴らしい。
- ② 見下ろす景観・見上げる景観は、魅力の一つだ。
- ③ 好文亭は、水戸市のランドマークで、道路から見上げていた景観だった。
- ④ 好文亭から、西の桜山が見えたらよい。また、東の梅林が見えたらよい。
- ⑤ 人工的なものは、少なくて良い。
- ⑥ 景観は満足している。
- ⑦ 千波湖を含め、緑がきれいで好文亭からの景色はとても良い。
- ⑧ 両方とも良い。高低差のあるところが魅力、活かす方法を考えたい。
- ⑨ ボウリング場の建物を何とかしてほしいと思います。複雑な債権問題があるのでしょうが。
- ⑩ 両方ともよいと思います。
- ⑪ 偕楽園の景観には、吐玉泉から南崖洞窟までの園路と、仙奕台・見晴広場、そして好文亭の楽寿楼からの、三つの高さの違う所から見る景観の違い・変化を楽しむ所に、偕楽園の借景の素晴らしさを覗き見ることが出来ると思います。しかし、平成時代に入ってから整備では、偕楽園の借景を忘れた整備になっている。桜山を見る景観は、拡張造園部の樹木の成長や梅桜橋による障害で見通しの悪い景観になってしまった。緑岡緑地や千波緑地を見る景観は、田鶴鳴梅林の植樹によって偕楽園からの史跡景観が変化してしまった。など、私有地を買い上げて整備した景観は、対岸を見通す史跡名勝(借景)を忘れた整備で、県の整備計画の問題点だ。

5. 各エリアに分けて、意見・要望をお書きください。

①A：偕楽園（本園）エリア

①A【◎】観光・交通 好文亭表門からの入園と身障者用駐車場の活用

好文亭表門からの入園者を増やす。

表門付近に駐車場(有料)を整備する。

元山町に作られた身障者用駐車場の平日利用者（0%）は、駐車場を作った目的が分からない。平成29年度に、好文亭表門を日本遺産や史跡名勝にふさわしい開園当初の状態に戻す整備をおこなった。

しかし、20cm位の段差を付けて整備したため、車イスの通行が出来ない整備で身障者用駐車場を整備し、「偕楽園御成門通り」や「好文亭表門通り」を利用して「好文亭表門からの入園」をコースにしているが、車イスの対策や駐車場の利用対策がされず、個々の担当での整備がされている状態である。史跡整備と身障者用駐車場整備が連携してない。



旧ときわ会館跡地にある身障者用駐車場は、好文亭表門に最も近い駐車場だが、普段の利用率は0%である。

好文亭表門からの入園に、一般車の駐車場として利用すべきだ。

◎観梅期間中、桜山Y字路で身障者用駐車場の表示が、欲しい。

提案1・・・現在、身障者用駐車場の利用者が無く、活用方法の見直しを提案する。身障者用を3～4台確保し、残りは一般車の有料とする。

提案2・・・身障者用駐車場は、カーナビに表示されず、好文亭表門入口に一番近い駐車場として、公開PRする。

提案3・・・歴史館は、偕楽園公園の偕楽園エリアであり、歴史館利用者駐車場だけでなく、偕楽園利用者にも自由に開放する。

歴史館敷地内の低地へ下った所には、偕楽園西門へ至る園路が設けられている。歴史館駐車場から好文亭表門や偕楽園西門への案内看板を充実させる。

②④【◎】観光・施設整備 梅の種類紹介札の整備・管理

偕楽園（本園）内や拡張部（田鶴鳴梅林その他の梅林）の梅林では、梅の樹木にぶら下がっている札でプラスチックの楕円型の青・緑・茶色で記号や数字やアルファベットが記された札が目につくが、「肝心な梅の木の名前」が全く見えないか、薄汚れてほとんど判読できない木札が数多くあるが、一方ではちゃんと書かれた木札がぶら下げられている梅の木もある。

現在の状態は、非常に不親切であり、見苦しい状況である。

梅の木の種類は、きわめて多いのは承知しているが、それでも現状をきちんと把握するために調査して、今の状況を改善するためもっと多くの梅の木に「肝心な梅の木の名前」を木札に書いて、来園して下さる観光客に「水戸の偕楽園の梅の木の印象」を強く持っていただいて、偕楽園の梅をより一層楽しく見て頂くよう、来園者サービスを改善することは、大切な魅力発信の手法の一つである。

偕楽園は単に見せる梅園ではなく、今日では見ていただく梅園であるという基本的な発想が必要で、しかも観梅の原点でなければならない。烈公も地下で共感されているに違いない。

「六名木以外の梅の木々も、園内全体も、きちんと適切に観る人の立場に立って管理されているな。」という、印象を持っていただくことが、まず魅力度向上の基本である。

③④【◎】観光・情報発信事業 名所でのQRコード活用

QRコードの表示板は、現在「仙奕台」の場所に掲示されている。ほかに「偕楽園記碑」の脇・六名木にも掲示されているが、例えば、「吐玉泉」の脇・「太郎杉」の前・「表門」の脇・「御成門」「南門」の脇・「偃湖暮雪の碑」の脇・「正岡子規俳句の碑」の脇・「好文亭」の入り口前・「孟宗竹林」の前 など、上記場所にも「短い説明文」と「映像」など、スマホをかざしてもらうことにより、スマホの画面を見ながらイヤホンで簡単な説明が聞けるシステムを設定する。（新しい魅力へ）

個人や若いカップルの来園者、特に若い女性の方々が利用するケースが多いと思われる。

（事例：QRコードを設けた徳川ミュージアム）偕楽園の全体の印象を強く持っていただく効果がある。

④①【●】観光促進事業 犬の立入禁止 地元住民の利用が少なくなった偕楽園(本園)

偕楽園の成り立ちについて、偕楽園の地(当時七面山と称された常磐の高台)が南面に緑丘、千波湖を臨み、遠く筑波の霊峰を望む等誠に景勝地であることを見出し、そしてまた、緑丘や丸山に義公ゆかりのものがあつたことから、ここに遊園を設けることに決めた。当時、この地は殆ど民有地であつたが、これ等の庶民には、替地を与え、家屋の補償をなし、移転をされたもので、孟子の言に「万坪の園も民と偕に^{そし}楽しめば広いと誇られない。

百坪の地も立ち入りを禁じられた民は之に苦しむ」とあることに、斉昭は共感され藩民に開放することにした訳です。更にこの遊園を設けるに至つた理由は、偕楽園記にもあるように、弓も常につるを張っていれば矢は遠くに飛ばなくなる。馬も常に駈けさしてばかりいれば早く走れない。誰も休養ということが大切である。その休養の場をこの遊園に求めなさいという意味があつた訳で、このような意味から作庭竣工後、偕楽園と命名した訳です。(「偕楽園とその管理」より)

朝夕の散歩は、子供や犬と家族での散歩で、朝の爽やかな空気や夕日を浴びながらの散策であつたが、(犬の立入禁止)犬とは一緒に入れなくなつてしまった。



「水戸のいまむかし」記録誌に、犬と散歩する住民が写っている。

日本最初の公園(地域に開放された庭園・都市公園・自然公園・地元の公園)として近隣住民にとっては、開放された憩いの公園である。
※登録入園制・入園できる曜日の設定(土日)など、戌年・ペットブーム・高齢者の癒し動物など、すべて禁止ではなく曜日設定など多少の開放は出来ないものかと、地域住民の声・意見もある。

観光の魅力⇒偕楽園の魅力にもつながる。

⑤④【◎◎】史跡名勝整備事業 借景公園の偕楽園

偕楽園の景観は、河岸段丘の地形から対岸まで見通せる自然景観の魅力に加えて、七面山の高台より千波湖を見下ろす景観のすばらしさに、この地に景勝地(借景)偕楽園を造成された理由である。

平成5年に隣接する常磐・元山町地区でマンション建設が計画され、住民の「偕楽園を見上げる景観地にマンションの頭が見えては、歴史景観の破壊である。」と反対運動が起こり、水戸市で買い上げ景観が守られた。

その後、常磐・元山町地区では特区により、12mの高さ制限をかけ、見上げる景観が壊されないようにしてきた経緯があった。

しかし、近年偕楽園周辺(借景区域)を含めた景観が、至る所で整備の名のもとに失われ、歴史景観・史跡名勝の魅力が無くなっている。

見下ろす景観・見上げる景観の整備が失われている。

- (1) 千波山の旧6号から偕楽園・好文亭を見上げる景観が見えない。
道路沿いの植栽が高すぎるため、好文亭が見えなくなってしまった。



偕楽園公園として整備する以前は、旧6号から写真の様に偕楽園や水戸市内に向う車の前方に偕楽園・好文亭が見えた。
(平成5年の緑化フェア前の電線地中化整備で、見上げる景観が良くなっていた。)

好文亭は、水戸市のランドマークであり、千波山の斜面緑地を抜けると偕楽園の好文亭が見え、観梅時期は大勢の観光客が南崖に見え、「これからあそこへ行くんだ。」との思いが沸いた。

懐かしい偕楽園の記録写真に、見上げる好文亭/常磐線が、写っている。

●「随分、偕楽園のすぐそば千波湖のほとり、千波山の一面であった。



●日本国台地の遠望



百年経たぬ
偕楽園



①偕楽園と新文亭の一角、明治初期

- (2) 大杉森・吐玉泉からの南崖に沿った園路からの景観
 (ア) 拡張部の植栽により、見通す景観が失われている。



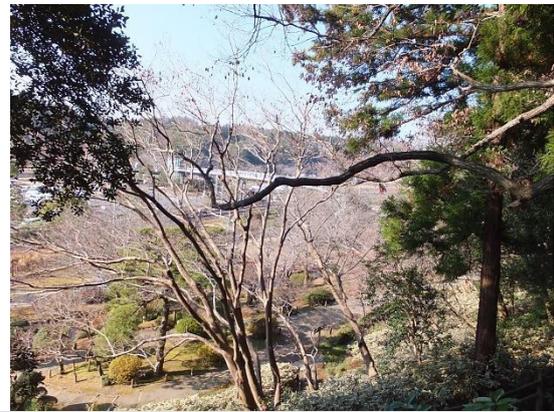
好文亭表門/一の木戸を潜って大杉森の南端に行くと、昔からのベンチが二脚残っている。

吹き込む風、そして桜山/丸山/桜川水田の先に緑岡の緑地が見える景観は、額縁に収めたい景色であった。いまは、造園樹木と梅桜橋で見えなくなってしまった。

- (イ) 南崖下の園路が田鶴鳴梅林で、吐玉泉から南門に至る園路が梅桜橋・拡張部植栽などで、偕楽園から南方向や丸山・桜山を見る南西方向の景観など見通しが悪くなってしまった。



【左】南方向



【右】南西方向

※ 常磐線の車窓から見える風景は、桜山・丸山を過ぎるあたりで低地を流れる桜川・水田の先に緑岡台地の斜面緑地が見え、その中から旧6号の車の往来、更に進んで千波湖の湖面のきらめき、と続く景色に「水戸の風景」が偲ばれる。

(3) 沢渡川の景色、岩間街道桜山橋から見下ろす景観の見通しが悪い。



人工の構造物は、借楽園公園内において、景観に配慮した色合いを検討する。

橋・ガードレール・河川の護岸・JR の電柱やフェンス・道路標識の支柱 など

桜山駐車場の街灯は、景観に配慮した色合いになっている。

↑ 桜山橋から南東方面を見る



↑ 桜山橋から北西方向を見て、沢渡川の谷間低地が、歴史館の低地拡張部の植栽で沢渡川の谷間の見通す景観を悪くしている。

提案・・・公園内の JR 電柱や県道・市道は、景勝地に合った色等の整備を行う。

公園内(景勝地)を電車や車が走行する公園は他にない。景観へ自然に溶け込む様な配慮をお願いします。

(以前、南門付近のカーブ地点は、列車の撮影地にもなっていた。)

路線は、昭和 36 年 6 月 1 日に勝田まで電化され、多くの電柱が設置された。公園内の景観としてフェンスやガードレール と合わせて景観に配慮した整備を検討する時代と思う。フェンス沿いには、アジサイやツツジなどの季節で見られるもの、背丈も高くならず見通しの障害も出ないので検討願いたい。(県の区域・市の区域とも)



↑ 南門付近



↑ 国道1号線の木製ガードレール、景観に配慮インターネットより

- (4) 常磐神社の階段右側の斜面緑地・風致地区内の守るべき景観の悪化
 神崎寺から西側の森や斜面緑地は、低地からは好文亭だけが樹木の中に見えていた。個人の住宅は見えなかった。
- 提案1・・・常磐神社南の斜面緑地(風致地区)内の樹木の管理と整備をお願いする。
- 提案2・・・偕楽園公園内の斜面緑地の適正な整備をお願いする。



⑥④【●】史跡整備事業 吐玉泉の女坂の史跡整備

吐玉泉西にある女坂が、コンクリートの坂になっているが、史跡整備・日本遺産として人工物を見せない工夫が必要だ。



【右】男坂は昔の面影を残した整備が出来ている。

【左】女坂は現在表面コンクリートで、車イスのための整備だが、回遊性がない。身障者用駐車場への誘導を検討してほしい。

⑦④【●】史跡整備事業 吐玉泉での森林浴・休息地としての整備

吐玉泉のある平地は、夏季には暑さをしのぐ休息地であった。3～4脚のベンチがあつて休憩を取っていた処が、木板が敷かれおもむき(様子)が変わってしまった。

※(まちなか大工町から徒歩 15 分、吐玉泉の水を口に含んで一休みしたお休み処)

⑧④【●】史跡整備 吐玉泉は神社の手水舎

吐玉泉の柄杓が近年無くなっている。

神社の手水舎のような扱いで使っていたものだ。

⑨④【●】史跡整備事業 吐玉泉から南門に至る湧水と水路の整備

吐玉泉から南門に向う園路に沿う水路の整備が出来ていない。

ドジョウやザリガニ・カエルなどの、生物が見られなくなった。

⑩④【◎◎】史跡整備事業 見晴広場は一面の芝生の白さに「陽」の魅力あり

見晴広場の由来は、広く一面が芝生に覆われ、南方より吹き込む心地よい風の方角を見ると、低地の千波湖や対岸の緑地の見える見晴しの良い芝生の広場。好文亭から見える芝生の広さ(白さ)が、偕楽園の陰陽の「陽」を梅花と芝生で表しているとの、書物もある。

観梅時期は多くの人で賑わい歩けないほど混雑したため、ななこ垣(竹柵)で通路を確保していたが、入ってはいけない柵に見えたりしていた。

昨年(2017年)には、溝を掘り碎石を敷いてしまい、見晴広場でイベントを行った際、車イスの方より通路の溝の段差が深く、催しを行っているテント間の移動ができないと苦情が出ていた。

広い芝生の休息地であったが、南崖沿いの園路よりは若干高く莫塵を敷いて(現在はシート)、お弁当を食べながら・野点をしながら景色を堪能したところであった。見晴広場の由来ともなっている広い一面芝生で見晴らしのいい広場に整備をすべきだ。



見晴広場の様相が、変わってしまった。



ななこ垣(竹柵)

⑪④ 【◎】 史跡整備事業 自然公園の中の近代的照明

園内の照明器具は、史跡の日本遺産に似合うものか？

- (1) 夜の行事のときだけの照明でいいのではないか、大正-昭和初期に設置された洋風照明は、自然公園史跡名勝にあわないと撤去された経緯がある。



種類の異なる灯・基礎が見える整備、雨ざらしの汚れ・基礎の見えない処では、跳ね返りの汚れが放置されている。(照明の清掃管理が必要)

- (2) 普段夕方、日没近くの来園者はいない。防犯灯だけの安全管理では、事件事故に対する安全管理体制が出来ていると言えるのか。園内の一定時間の巡回・防犯カメラなど、見られない現状。

⑫④【◎◎】状況報告 三公園の開閉園時間の比較と防犯災害時の現状

閉園時間が遅く、管理防犯システムが不明の中で、防犯灯の設置だけでいいのか疑問である。

兼六園や後樂園・栗林公園より、日の入りが20～30分早いのに、逆に閉園時間が遅く、周辺地域の住民は、日が落ちて暗い中で「閉園10分前です。」の園内放送に、こんなに暗くて「何かあったら大変!」と心配している。

提案・・閉園時間は、日没に合わせて現在年に2回の変更を、年に4回程度時間を変えるべきではないか。また、イベント期間の夜だけの防犯灯設置が望ましい。史跡名勝にふさわしいデザインの燈籠やぼんぼり等を提案する。

※ 金沢では四季に合わせて2週間のライトアップで、夜の公園の風情を味わっている。

問1・そもそも借楽園では、防犯カメラは設置されているのか?

問2・震災の時、観光客の誘導など見直し・改善は行われているのか?

問3・見晴亭などへの職員の常駐、災害時の対応など時間帯によっては、難しいのではないか?

下表は、三公園と栗林公園の開閉園時間と各地の日の出・日の入をまとめたもので比較している。

公園の開閉園時間・閉園時間を比較									
水戸(茨城県) Mito【借楽園】 緯度 36.1667 経度 140.4833					金沢(石川県) Kanazawa【兼六園】 緯度 36.1667 経度 136.6500				
日付	日の出	差	閉園時間	日の入り	差	閉園時間	閉園の長さ	閉園の時間	備考
1月20日	5:47	0:13	7:00	16:51	1:09	18:00	10:04	11:00	
2月20日	6:20	0:20	6:00	17:24	1:36	19:00	11:04	13:00	
3月20日	5:42	0:18	6:00	17:50	1:10	19:00	12:08	春分13:00	
4月20日	4:58	1:02	6:00	18:16	0:44	19:00	13:18	13:00	
5月20日	4:28	1:32	6:00	18:42	0:18	19:00	14:14	13:00	
6月21日	4:20	1:40	6:00	18:59	0:01	19:00	14:39	春分13:00	
7月20日	4:35	1:25	6:00	18:53	0:07	19:00	14:18	13:00	
8月20日	5:00	1:00	6:00	18:23	0:37	19:00	13:23	13:00	
9月26日	5:29	0:51	6:00	17:30	1:30	19:00	12:01	秋分13:00	
10月20日	5:49	1:11	7:00	16:56	1:04	18:00	11:07	11:00	
11月20日	6:20	0:40	7:00	16:27	1:33	18:00	10:07	11:00	
12月21日	6:46	0:14	7:00	16:27	1:33	18:00	9:41	秋分11:00	
※日の入後に閉園時間と設定し、1時間以上が7ヶ月も設定されている。									
※夜交響2/20～9/30は、9:00～17:00まで、10/1～2/19は、9:00～16:30まで。									
岡山(岡山県) Okayama【後樂園】 緯度 34.6667 経度 133.8333					高松(香川県) Takamatsu【栗林公園】 緯度 34.3500 経度 134.0500				
日付	日の出	差	閉園時間	日の入り	差	閉園時間	閉園の長さ	閉園の時間	備考
1月20日	7:09	0:51	8:00	17:21	0:21	17:00	10:12	9:00	
2月20日	6:45	1:15	8:00	17:52	0:57	17:00	11:07	9:00	
3月20日	6:08	1:22	7:30	18:16	0:16	18:00	12:08	春分10:30	
4月20日	5:27	2:03	7:30	18:40	0:40	18:00	13:13	10:30	
5月20日	4:58	2:32	7:30	19:04	1:04	18:00	14:06	10:30	
6月21日	4:51	2:39	7:30	19:21	1:21	18:00	14:30	春分10:30	
7月20日	5:05	2:25	7:30	19:15	1:15	18:00	14:10	10:30	
8月20日	5:20	2:02	7:30	18:45	0:45	18:00	13:17	10:30	
9月26日	5:55	1:35	7:30	17:56	0:04	18:00	12:01	秋分10:30	
10月20日	6:14	1:46	8:00	17:24	0:24	17:00	11:10	9:00	
11月20日	6:42	1:18	8:00	16:57	0:03	17:00	10:15	9:00	
12月21日	7:07	0:53	8:00	16:57	0:03	17:00	9:50	秋分9:00	
※日の出・日の入に合わせて、各月ごとに閉園時間を変えている。									

- ⑬④【◎◎】**史跡名勝の維持管理** 本園及び借景エリアの人工物等の色彩統一常（いつまでも変わらない）変わらない整備（史跡名勝）をお願いする。竹林に囲まれた好文亭表門からの道が特にいい。

※ 整備の基本的考え方

- (1) 人工物を使わない・人工物を見せない…工夫をする。

（実例現状：借楽園表門から始まり一の木戸を潜って階段にある照明から、基礎のコンクリートが見える整備が見られる。）

- (2) (1)については、借楽園（本園）だけでなく、本園周辺を含めた史跡名勝・景観（借景）が観光の第一であるため、借楽園公園全体で検討する。

- ⑭④【○】**観光交通案内** まちなか駐車場・分かり易い案内板の見直し

駐車場誘導が低地駐車場への表示のみだが、日本遺産の弘道館やまちなか駐車場を有効に利用し案内する。

道案内を分かり易く。 例⇒臨時駅から歴史館へ行ける案内標示がない。

- ⑮④【◎】**身障者への整備事業** 園内バリアフリーの範囲と史跡のバランス

車椅子の方々への利便性を工夫・検討

史跡名勝の維持の中で、どこまでバリアフリー整備をするのか検討

昨年、表門が開園時への復元整備により、段差が発生し車イスの通行に障害が発生している。

- ⑯④【◎◎】**史跡名勝整備事業** 高低差の変化の魅力(スポット～パノラマ)

「僊湖暮雪」碑の前の梅の木の剪定をお願いしたい。

（水戸八景は、碑の前に立って見る景色が良いと言われている。）

また、借楽園の魅力の一つは、高低差の変化から周辺の景観を堪能することが出来る事であった。表門から入園し竹林や大杉森を通過して吐玉泉に向い一休みしてから、南崖洞窟までの低地にある園路を歩くと、右手には桜山・丸山・桜川・千波湖・奥に緑岡斜面緑地などが、足を止めて見ると景観スポットとして目に飛び込んでくる。

次に、僊湖暮雪碑の前を通るか、若しくは南崖洞窟の右手を通過して、見晴広場に上がって行く（高低差約6mは、建屋3階）と、今まで見ていたスポットがパノラマで見えてくる。このパノラマを南崖の縁を通過して仙奕台・櫓門まで眺望を堪能できる。その後、ツツジや草木を見ながら、好文亭を見学して楽寿楼に上がって見たら（好文亭3階構造約8m）、その景色には大パノラマの東の梅園・見晴広場・千波湖・桜川や奥の緑岡緑地・丸

山や見川緑地・桜山や見和緑地・さらに筑波山や連なる山々が望めることに、驚嘆するのではないか。それらの景観が近年忘れられ、特に低地の園路から見えるスポット的景観が、拡張部の植栽やいろいろ作られた構造物が邪魔をしている。

近年、環境・景観まちづくりにおいて、過去の大規模な事業であっても、見直し復元事業が進められている。日本でも東京の「日本橋周辺の景観復元計画」が、注目されている様だ。偕楽園においても、近年整備された①低地の植栽②南崖橋・偕楽橋の整備③田鶴鳴梅林の整備④梅桜橋の整備⑤梅戸橋の整備など、歴史資料に照らして見て、土木の技術力や整備状況の中で、公園内の景観面からの見直し検討がされることを期待したい。

将来、偕楽園は歴史・日本遺産観光を考えると、借景公園の偕楽園から見える景色を考えた整備を進めていくべきである。田鶴鳴梅林は、見通す低地を妨げてしまった。偕楽橋も千波湖を見通すのを妨げている。低地の植栽も今は成長し、見下ろす景観や見上げる景観の妨げになっている。

⑰④【○】史跡整備 常磐神社の森の整備

常磐神社の森の整備をお願いしたい。

枝払いや剪定が悪く空気の通りも悪い、神社本殿にも覆いかぶさる状態で奥は立入禁止にしている状態だ。本殿を一周しながら末社をお参り出来ていた。

⑱④【◎】史跡整備 日本遺産にふさわしい、開園当初の土塁の整備・復元

表門から御成門に至る「土塁」や、常磐神社の北側と東側までの「土塁」を、日本遺産にふさわしく開園当時に復元してほしい。

⑲④【◎】施設整備 震災以降好文亭に近いトイレが使用できず不便な状態

震災以降好文亭に近いトイレが使用できず、利用者が不便な状態で、早めの修繕をお願いします。

⑳④【◎◎】見晴亭の活用の見直し 当初の見晴亭建設の趣旨で活用を！

平成 29 年 4 月に要望書を提出した 6 項目、①東日本大震災を踏まえ、災害時対応の公園センターの分室が必要である。②観光ボランティアの控室③来園者の休憩所 ④観光パンフレット配布所 ⑤乳幼児のオムツ替えや授乳所 ⑥来園者のもてなし茶席 など、を目的として、寄付金を集め、その財源で建設された施設である。

現在、県観光物産協会の売店化し、園外の店への影響も出ており、本来の建設趣旨掲示板をもとの設置位置に戻し、本来の活用をお願いします。

A：偕楽園・拡張部 (田鶴鳴梅林・四季の原など)

①A【◎】施設・整備 偕楽園公園の偕楽園エリアと偕楽園(本園)の区別

拡張部の案内表示は、「好文亭→」の表示になっている。

県外の観光客は、桜山駐車場を降りてくると、「偕楽園は何処ですか？」と質問される。常磐線の北側が「偕楽園(本園)」であり、田鶴鳴梅林や四季の原は、以前は田んぼ・水田で緑化フェア後の整備拡張された区域であって、偕楽園公園全体の一部でしかない。

常磐線より南側エリアでは、「偕楽園(本園) →」にすべきである。

観光客は、本園の偕楽園を目指しているが、拡張部(常磐線の南側)ではまだ偕楽園でない。

しかし、県では偕楽園エリア=偕楽園内との考え方で「好文亭→」の案内にしていることで、分かりづらくしている。また、「好文亭」が偕楽園内の施設としての認知度は「偕楽園の梅」よりは低い。



②A【◎】芝生広場の活用計画 レクリエーションやスポーツなどへの開放

偕楽園公園の芝生広場を開放し、イベント・レクリエーションやスポーツ・ドッグランなど、土日はどこかで活用イベントを実施する。

[県側：四季の原の芝生・猩々梅林の芝生広場・田鶴鳴梅林の芝生広場・歴史館の芝生広場]

[市側：D51 芝生広場・ハナミズキ広場など]

③A【◎】史跡整備 見下ろす景勝エリアの整備と本園の季節感の融合

偕楽園(本園)から、見下ろすエリアで景観を考慮した整備を考える。

- (1) 田鶴鳴梅林・桜川沿い・月池までは、偕楽園(本園)から見下ろす景勝地であり、このエリアを海浜公園の様に、季節の花でイベントを行い集客する。
- (2) 偕楽園公園として、偕楽園(本園)にあるツツジ・アジサイ・藤・萩の景観を考えた植栽を行い、ツツジまつりや萩まつりなど拡張部エリアに広げて実施し、梅の時期だけでなく、5月・6月・9月と1年を通した観光を楽しめるようにする。

④A【◎】設備管理 偕楽園公園内の景観を踏まえた色調を関係機関統一

[JR 電柱・フェンス・道路ガードレール・案内柱・河川整備護岸]

偕楽園公園内の「JR 常磐線の電柱やフェンス」、「道路のガードレール・信号機・案内表示板と柱」「河川の護岸工事」など、景観に配慮した色調を関係機関で統一する。



JR のフェンス・電柱



ガードレール・JR のフェンス・電柱



箱根の国道一号線の木製ガードレール

(インターネット資料)

観光地の景観を向上させるのが狙いで
2008年1月から国道一号線の小田原へ
向かって順次実施されている。



県道50号 千波坂上山本整形外科病院前
から緑岡中学入口まで、ガードレールがこげ茶の色
調で整備されている。



ボウリング場前の写真

道路標識が、目的・管理者・作成年度の違いで、
色調等が異なっている。



花追橋の下流のり面

年数が立っているが、石積風・芝風にコンクリ
ート部が見えない工夫が見られる。



桜山第1・2駐車場間ののり面工事

コンクリート平板による護岸整備で、景勝地のコンクリ
ート平板は、左写真の直ぐ上流部で、同じ様な
工事が出来なかったか？

⑤A【◎】偕楽園公園内の駐車場の利用問題 公園利用目的の状況

駐車場の利用率の報告はあるが、利用目的の「公園利用」以外が多く管理方法の検討が必要だ。

《県の管理区域》

桜川駐車場・・・観光バスの集合場所 等
桜山駐車場 1/2/3・・・観光バスの集合場所 等
護国神社西駐車場・・・周辺住民が利用 等

《水戸市の管理区域》

西の谷の駐車場には、恒常的に常時、又は、毎日通勤等で市街地又は近くの職場に通うためこれらの駐車場に自家用車を置いて行く人達がいると思われる。

かつて何年も昔のことだが、千波湖の湖畔のD51のある駐車場で通勤者が車を置いていないか、フロントガラスのワイパーに何回（何日）か駐車は出来ない旨を書いて紙をはさんで何回か何日もかけて呼びかけをしたとの話を聞いた。（そうした行政側の努力は、評価すべきである。）

本来の緑地利用者の便宜を優先的に配慮したこのような行政側の対応を参考に現在の各々の駐車場利用の実態を調査して把握することも、各エリアの活性化、適正化に寄与する努力ではないだろうか。

偕楽園の無料・有料の議論はあるが、どのエリアでも有料化(2～3時間以内無料)であれば、公園利用にあった駐車場利用になるのではないか。

さらに、お土産購入や足を延ばして、弘道館観光・町なかショッピングなど、金額で延長できるシステムなども検討願いたい。

B：千波公園(市)エリア 都市公園区域

(千波湖・周回ジョギングコース・黄門像広場)

①B【◎◎】景観整備・観光 ボウリング場跡地・敷地の活用 <私有地>

ボウリング場が、周辺の景観を損ねている。

私有地での転売になると、偕楽園公園の景観を無視したものが造られる可能性があるため、市か県で買い取り景観を考えた活用整備計画を早急にしてほしい。

- (1) 景観上ボウリング場は取り壊す。
- (2) 敷地の活用。

提案1・・・歴史資料館等の建設（景観に配慮した建屋）

提案2・・・駐車場とする。

②B【◎】観光 千波湖周辺から桜山[桜まつり]観光PR

千波湖の周辺には、約700本30種類の桜の木があると思われる。
東京のバス会社から「千波湖の桜は、今何分咲きになっていますか？」
という、問い合わせがいくつか以前、公園協会に寄せられた経緯がある。
水戸市として、千波湖の桜を観光資源として大々的にPR発信する手段
をいくつか考える。

提案1・・・紙媒体による他、SNS・地デジ茨城・キラキラTV・茨城放送で
PRを行う。

提案2・・・千波湖の桜と偕楽園・弘道館コースなど、観光コースをPRし
て、偕楽園の魅力のひとつに加える。
「千波湖を一周するウォーキングも含めて。」

提案3・・・「偕楽園の梅」だけでなく、水戸の梅まつりと桜まつりを連動さ
せて催しを計画する。

提案4・・・助さん号・格さん号などの無料バスの運行やシャトルバスの運
行など、延長を検討する。

③B【◎】史跡景観整備 千波湖整備と保存

ビオトープの名のもとに、千波湖の埋め立てや観察デッキなど、千波湖
面積の縮小はないか？

一つの活動団体だけでなく、他の関係団体とも協議して環境や史跡・景
観などに配慮した整備を進めてほしい。

④B【◎】観光交通 千波所周辺の駐車場の運用と現状

千波湖周辺の無料駐車場の使用方法の検討が必要だ。

現状1・・・勤務地に近い駐車場に止めている

現状2・・・待ち合わせ・集合乗り合わせで長時間止めている。

⑤B【◎】史跡景観整備 見下ろす景観・見上げる景観の現状

偕楽園からの景観エリアで、公園から見下ろしたときに、視界にどの様
に入ってくるか考えて、開発整備をお願いしたい。

現状・・・千波湖の噴水や好文カフェなど、偕楽園の借景としてふさわしいも
のか？

提案・・・低地のどこからでも偕楽園の好文亭が見えていたので、「好文亭は、
水戸市のランドマーク」として、これからも維持していきたい。

⑥B【◎】史跡整備 水戸の名所「柳堤」整備

千波湖の周りに桜の木が植栽されているが、千波湖北側湖畔は、柳堤をイメージされた「柳」が植えられ、枝が垂れ下がる日陰で涼む光景があった。

提案1・・・古来の「柳堤のイメージ」を千波湖の湖畔に残したい。

提案2・・・千波湖周辺・桜川沿いの「桜」に対し千波湖北側は、「柳」との共存を図りたい。

⑦B【◎】観光 千波湖ジョギング健康小冊子の提案

千波湖のジョギングや徒歩の散策を記録し、市民や県民の健康の記録に役立てる。現在多くの人が千波湖周回コースを利用しているが、ただ周遊するのではなく、個人で記録(スタンプ印)を取り、訪れた日や一周3kmの距離をチェックできる小冊子を作成する。

(提案・簡単手作り小冊子[8ページ]で、偕楽園のパンフレットボックスを参考に、自由に利用するシステム)

提案1・・・**40周で1冊**の小冊子で、5冊押印終了で200周となる様に作成し、小冊子の数を楽しく増やしていく。

(*たとえば、1000周で、市から記念品?など)

提案2・・・観光客には、水戸の観光紹介と合わせて、千波湖周回記念のスタンプを押印する。

(*2~3回の押印スペースを用意しリピーターを増やす。)

⑧B【◎】親水事業・河川整備 水に触れられる環境整備

千波湖や桜川で、水質問題はあるが、良くなった時、水に触れられる環境整備をお願いしたい。設備を進めれば水質も向上すると思う。

⑨B【◎】植栽の整備管理 偕楽園公園内の常磐線・道路沿いの植栽

緑化フェアは、車窓からの景観がコンセプトでもあったが、千波湖の湖面のきらめきが列車から見ると「水戸に帰って来た。」との思いがあった。

見通しのいい景勝地が、木々で目隠しをする整備になっている様で、植栽は桜と柳、ほかは低木のツツジ・アジサイ・萩 等を植えてはどうか。

⑩B【◎】斜面緑地の管理 斜面緑地・風致地区内の木々の伐採の現状

斜面緑地・風致地区内の木々の伐採が数か所見られる。

偕楽園下駐車場付近・ハナミズキ広場の南側斜面など、個人の目的でなく、偕楽園公園や偕楽園からの景観を第一に考えた整備を行ってほしい。

C：千波公園（市）エリア

(少年の森・ハナミズキ広場・テニスコート・西の谷)

①C【◎◎】景勝地の確保 西の谷公園緑地入口釜神町県営アパート地の活用

『水戸台地最後の重要景勝地、千波湖を見下ろす(千波湖八景)景勝地』

水戸台地から見下ろした景観に、備前町のグランドホテルのレストランや客室から千波湖を見下ろし、桜の季節・夏の花火など、一年中景色を楽しむことが出来た。梅香にも「ときわ荘」・「生涯学習センター」があったが、現在は民間のマンションや駐車場に代わってしまった。

歴史資料の「千波湖八景」には、水戸台地の神崎寺から・梅戸崎から・梅香からの景観が、八景の中に紹介されている。

提案・・・これらの千波湖八景の景勝地に代わるものは、公の土地では「備前町の釜神アパート」地だけであり、老朽化した中で今後の土地活用については、民間に売却することなく市民/県民が活用できる様にて、台地から朝日・夕日・千波湖を見られる場所を確保したい。

②C【◎】桜川堤防の整備 堤防による視界狭窄、路面高の確保

桜川左岸のテニスコート付近を走る道路が、路面高が低いのか堤防が壁となって景観を悪くしている。

現状1・・・以前は通勤・帰宅時の渋滞道路であったが、川沿いで桜川・千波湖も見え、夕焼けの湖面のキラメキが渋滞を忘れさせるほどの車窓の景観であった。

現状2・・・堤防の川裏法尻の排水が悪くいつも堤内地が湿っている。

提案・・・道路面を上げて、公園内での景観に配慮した道路整備を行う。

※ 現在、梅戸橋周辺の接続工事が行われているが、道路高は不明？

③C【◎】駐車場の利用 利用目的の現状

西の谷駐車場の利用は、朝から30～40台が町中勤務の無料駐車場になっている。

現状・・・市の利用実態調査は、利用率で示されているが、公園利用目的は0%になる実態を把握してほしい。

④C【○】史跡整備の検討 隣接区域の現状

大工町近くの旧ゴルフ練習場跡地に、太陽光パネルが敷き詰められている。水戸市のまちなかで、史跡の西の谷（水戸の第4番目の堀）地形で、水戸市や茨城県は、まちなかとの連携利用・開発を検討すべきではないか。

現状・・・私有地であっても、まちなかでのソーラーパネルは話し合いの必要な地区と思う。まちなかと連携して活用すべき地域だ。

⑤C【◎】西の谷公園緑地の活用 まちなかとの回遊及び歴史ロードの整備

西の谷は、まちなかに近く、まちなかとの回遊や偕楽園の歴史ロードの拠点として最高の場所ではないか、薬草園だけでなくいろいろな活用を考えるべきだ。

提案1・・・薬草園などをテーマにもっと市民に周知してもらいたい。

提案2・・・たとえば、まちなかドッグランなどを整備し、まちなかとの繋がり、賑わいをまちなかまで引っ張れるような開発整備を考えてほしい。

⑥C【◎】新設駐車場の活用 期間限定大型車駐車場計画の運用・整備

大型車両の臨時駐車場建設地については、梅まつり期間限定でなく、まちなかイベントへの活用や歴史ロードでの活用など、いろいろな提案が出来ると思う。仮設風でなく、きちんとした緑地にふさわしいお休みどころやトイレの整備をお願いする。

⑦C【○】西の谷公園緑地の活用 歴史ロードの充実

大工町方面の通路は、民有地の使用許可を得ている様だ。安全に使用できる体制と・偕楽園公園に至る歴史ロードの順路案内表示をお願いする。

現状・・・「好文亭表門通り」偕楽園に至る看板表示が色あせている。修復の時期の様で、インターネットに「水戸市でのガラス塗装」の紹介があったが、塗装の年数が経っており、修復検討時期と思う。

提案・・・ガラス塗装の修復上塗り実験を行う。

⑧C【○】西の谷公園緑地の活用 自然保護の区域・身近な観察地区

斜面緑地には、湧水や生き物・昆虫も生息しており、自然保護の区域・身近な観察地区でもあり、まちなか回遊拠点としても活用できる貴重な所で、市民は有効に使うべきところだ。

⑨C【○】千波湖周辺の環境 野鳥のフンの状況

野鳥のフンの処理を、憩いの場・観光地としての検討が必要と思われる。

C：千波公園（県）エリア（近代美術館・文化センター周辺）

①C【○】現状確認・管理 若者の活動拠点作り

近代美術館前の歩道で若者がスケートボードをしている。一般道であり通行の妨げになり、歩行者には危険である。

提案・・・紀州堀緑地に、若者が集まれる施設を作る。(P. 30 を参照)

②C【○】水路・園路の管理整備 水の流れと園路管理

近代美術館と千波湖の間にある水路及び園路の整備、管理の充実を図る。

D：桜川緑地エリア (好文橋より上流部)

①D【◎】園路・サイクリング道路の整備

『桜川右岸・駐車場からの回遊性が分断された公園から、繋がりのある公園へ』

旧6号に隣接する右岸側は、遊水地だけで散策園路や隣接地区との接続通路を整備し、公園の回遊性や通学路・近隣住宅からの公園利用が出来る様な整備をお願いする。

また、他のエリアとの回遊性・隣接地域との接続がないと、偕楽園公園の広さだけで活用利便性のない公園になってしまう、園路やサイクリング道路の整備をすることにより、いろいろな活用が生まれる。

②D【◎】河川敷の開放 (飯盒炊飯・バーベキュー・オープンカフェ)

桜川遊水地エリアもキャンプや飯盒炊飯の出来る設備を作ってほしい。

他の市町村まで行かなくても、地元で出来ればいろいろな催しも出来ると思う。公園の魅力向上にもなる。(桜川駐車場より上流部)

E：沢渡川緑地エリア

①E【◎】沢渡川緑地の整備管理 斜面緑地の繋がり・台地に挟まれた景観

常磐大学前の県道177号線からの沢渡川緑地は、右岸桜山や左岸偕楽園まで斜面緑地が近年まで残っていたが、東町運動公園の斜面や歴史館下の植栽で、谷間の対岸を見る史跡名勝と斜面緑地の繋がりが薄れてしまっている。

現状・・・岩間街道の見和台地より、以前は歴史館が見え低地の池と蓮の花が咲いているのが見えて四季が感じられていた。

②E【◎】エリアの繋がり園路整備 現在の自然環境を保護

沢渡川緑地と偕楽園エリアの繋がりスムーズにできるサイクリング道路がほしい。

提案1・・・歴史館下の柵は撤去し、偕楽園西門から常磐大学前の公園までサイクリング道路の整備をする。また、桜山第1駐車場から常磐大学前までのサイクリング道路や園路を整備する。



桜山橋から沢渡川上流方面の景観

低地は見え、常磐線のスペースだけで歴史館拡張部の植栽が育ちすぎている。



沢渡川斜面緑地の東町運動公園エリア

桜山橋が昭和 34 年に架かるまでは、岩間街道の踏切が桜山橋の約 100m 下流部にあった。近年の公園拡張部植栽と年月の成長で見通す景観が妨げられている。運動公園部は逆に伐採され、建屋が見える状態での整備が進んでいる。

提案 2 ・ ・ 歴史館下の公園整備は、岩間街道の盛り土がなければ、水戸台地と見和台地の間を流れる河岸段丘の谷間であり、両台地の斜面緑地を互いに見通した景勝地であり、歴史館下の公園整備の高木の植栽は景観を損ねている。低地はフェンスを取り去って岩間街道からも行き来できる様に整備すべきだ。

提案 3 ・ ・ 常磐線左岸は、沢渡川の河口部遊水地で斜面からの湧水も豊富である。低地の湿地帯は現状保護するために豪雨時の常磐線橋脚狭隘部通過排水は**ポンプ排水**をお願いする。

③E 【◎】 見和台地沿い公園の生物保護 斜面緑地に多くの生物の生息域

常磐線沿いの水路に多くのメダカが生息している。野鳥も生息しており、自然生物の生息を調査し影響のない開発をお願いしたい。

F：逆川緑地エリア

①F【◎】逆川の園路整備 公園内の繋がりがある公園へ

桜川から50号バイパスまでの散策ルート・サイクリング道路の整備は、周辺地域との繋がりが生まれ、利用度が上がる。本郷橋から小門橋→水神橋→塩橋と橋ごとに分断され、園路の繋がりにから散策観光へ繋げる。

②F【◎】周辺地域との通行整備 周辺地域の公園として繋がりのある園路

近隣の住宅地との繋がる園路の整備を検討
ジョギングなどが出来る公園にしてほしい。

③F【◎】イベントの検討

ジオツアーをもっと頻繁に開催してほしい。
年間、市民が楽しめるイベントを開催する。

④F【◎】観光との連携 笠原水源・水戸神社の整備

笠原水源への入口や案内板が分かりづらいようだと検討したい。

笠原水源の観光スポットに隣接する水戸神社の整備。神社へ至る階段や途中の廃墟の建物など、環境整備が必要だ。また、階段下に「水戸神社」の解説案内板の設置をお願いする。

G：紀州堀緑地エリア

①G【◎】まちなかの公園利用 まちなかに結び付けた施設を整備

紀州堀は交通量が多く住宅地に隣接しているため、斜面緑地は干渉スペースで整備されているが、まちなかの中心に位置しもっと活用すべきエリアで、ユニー跡地の利用が進められ、若者の集まる施設もあり、「落書きが多い所」から、「多くの人が集まる・若者の聖地」へと、環境整備を行い若い人たちに「まちづくり」へ参加してもらおう。

斜面緑地はいじらず、平たんな勾配スペースで、いくつか提案する。

提案1・・・年間、市民が楽しめるイベントを開催する。

提案2・・・まちなかから千波湖に向う下り坂を利用して、「**スケートボードの出来る施設**」整備や「**ハーフパイプ**」などを整備する。

提案3・・・現在落書きされている壁があるが、オリンピック種目の「**クライミングの設備**」を整備する。(道路東側公園も利用できないか?)

提案2・提案3は、若者が少し勾配のある歩道で遊んでいると、すぐに苦情・禁止看板が設置される状態、遊ぶ所・練習する所がない。ルールを決めて開放出来る場所の検討をお願いしたい。又は、スポーツ施設として東町運動公園でも検討願いたい。

提案4・・交差点スペースは、広く芝生が張られている、「まちなかドッグラン」での活用をする。または、殺伐としているので、常緑樹を植える。景観に配慮し、高くしない木(たとえば、ヤマモモ など)を植える。

現状1・・整備が完成した公園の様だが、斜面下の平面区域にはベンチがあったりするが、ほとんど利用がない状態、道路東側は斜面下に降りる階段が2ヶ所あるが利用実態がない。落書きもガードレール・配電ボックス・擁壁・トンネル通路壁面などに見られる。トイレも簡素なもので改善してほしい状態であった。



まちなかの空きスペース(芝生)の活用 ・ トンネル 349 東側エリアの有効活用



壁面の落書き 何年も放置されてきた ・ 変圧器ボックスの落書き

H：東町運動公園エリア

①H【◎◎】東町運動公園の斜面整備 偕楽園公園エリア内の景観整備

現在、斜面には大きな看板が設置されているが、常磐大学より偕楽園公園エリアに入るの、公園内の構造物や看板などは、景観の面から撤去等検討すべきではないか。



公園エリア沢渡川斜面緑地の看板 [お得な空の旅は茨城空港 検索 ◎]
& [Jリーグ百年構想、応援しよう^水戸ホーリーホック]

偕楽園公園内の整備については、「偕楽園本園からの景観」や「日本遺産にふさわしい整備を！」とは何か議論し、どのエリアまで制限をかけるか検討すべきと思う。

②H【◎】東町運動公園斜面緑地の保護 斜面緑地の繋がり

沢渡川緑地の斜面緑地が、東町運動公園整備によって、途切れた状態、斜面緑地の繋がりを確保してほしい。

③H【◎】 沢渡川の史跡景観の保存 一対の弘道館と偕楽園のつながり

沢渡川の右岸桜山(玉龍泉)と左岸偕楽園(吐玉泉)の対岸(対の関係)、陰と陽

偕楽園公園の偕楽園が造られたのは、沢渡川・桜川の河川浸食によって生まれた地形の対岸を見通す景観によって、水戸の町「水と緑と歴史のまち」が、生まれたのかと思う。

鉄道が赤塚駅を出て、公園エリアの沢渡川緑地の景観に魅せられて、偕楽園・桜山エリアに進んだとき、さらに景観のすばらしさに感激するのではないか。水戸へ観光で来るとき、沢渡川・東町公園エリアの河岸段丘の景観導入があって、偕楽園の借景公園へ繋がる大切な場所と思う。

I：その他

(県立近代美術館・文化センター等)

①I【◎】 近代美術館・文化センター通りの街路樹の維持管理

通り沿いのイチョウの紅葉が素晴らしく維持管理をお願いする。

J：偕楽園公園の回遊について

①J【◎】 観光交通 隣接各エリアとの交通連絡網

全体をサイクリング道路で繋ぐ事で、単独の整備から地域への広がり生まれる。

②J【◎】 観光交通 近隣地区と公園内への連絡通路の整備

各地区とも、近隣の地区から公園内に入れるルートを整備し、地区の住宅やお食事処へも繋げる。

K：全体について

①K【◎】 偕楽園公園の魅力再発見の意見交換 県の「偕楽園公園サポート連絡会議」等

水戸の観光的魅力に付加価値を付けることが、大きなテーマである。

偕楽園公園の魅力向上や再発見のために「水戸の若者」たちの提案を取り入れる考えがあっても良いのではないだろうか。

「地域政策や街づくり」に関する興味関心のある大学生の提案も斬新な発想が得られると思われる。

茨城大学・常磐大学の学生に参加してもらってはどうか。

無論事前に趣旨を告知して、大学側との連絡調整が必要になり、学生を集めることが困難になるかもしれないが、中高年者だけの文殊の知恵に

若々しい新たな発想が加えられれば、更に付加価値が付く提案になると思われる。この場合、とっぴな発想も実現可能性の高いアイデアも皆受け入れることが必要である。また、市民や地域住民の声も参考にし、検討する。

L：観光について

①L【◎◎】 水戸駅南口と偕楽園 昔ながらの手漕ぎろ舟

弘道館と偕楽園を結ぶ動線の整備 小型バスの運用

(1) 水戸駅南口の桜川の駅南大橋下から偕楽園下(花追橋付近)まで、昔ながらの手漕ぎろ舟で観光客を運ぶ。

- ア、観梅や桜まつり、その他イベント時期限定・土日限定など
- イ、桜川の水位上昇時期の期間調査
- ウ、水郷潮来あやめ園ろ舟乗り場とろ舟遊覧を参考にする。

(2) 日本遺産に認定された偕楽園と弘道館を結ぶ市内回遊小型バスを運行する。

- ア、昨年イベントにおいて、弘道館と偕楽園が二か所合わせて認定を受けたことが、認知されていないので驚いた。二か所の認定を結びながらまちなかを経由して、観光を進める。
- イ、二か所とも、一方通行なので小型のバスで運行する。ルートを検討の中で、水府橋交差点の税務署から降りて行くと、水戸駅方面への右折禁止を解消したい。ルートに水戸駅は必要だと思う。

②L【◎】 まちなか駐車場利用促進の情報発信 常磐線より北エリアの情報発信

③L【◎】 ②まちなか駐車場利用と8～10方面のインター活用と情報発信

弘道館と偕楽園が対になっているので、まちなか駐車場を有効に使い、車で行くインターを水戸インターのみでなく、八方にあるインターを活用し、お食事処や観光スポットに合わせて利用を促進する。

提案1・・・水戸インター以外に①日立南・②那珂・③水戸北スマート・④茨城町西・⑤茨城町東・⑥水戸南・⑦水戸大洗などがあり、各インターに至る道路でのお食事処の紹介をする。

提案2・・・その他にも、⑧友部SA上りスマートIC・⑨友部SA下りスマートIC・⑩友部なども利用範囲と言える。

提案3・・・カーナビでは、水戸インターへの誘導になってしまうので、希望のインターを選択できるよう茨城県、水戸市のHPから道路や周辺の食事などの案内を発信する。

④L【◎】観光のピーク時パークアンドライドやシャトルバスの活用

観梅の時期は、道路の渋滞を緩和するため、HP から最新情報を発信して渋滞の分散を図る。

渋滞を分散するなど、より良い交通誘導を図るために周辺で可能な場所があるか調査し、交通実験を行う。

M：水戸の観光について

①M【◎】観光 まちなかの駐車場の活用

梅まつり期間中の、まちなかの賑わいは無くなり、偕楽園下方駐車場周辺の混雑が目立っている。日本遺産の弘道館と偕楽園をベースに、人の流れや車の流れと駐車場を見直してみる。

昔、偕楽園⇄第一観梅会場、弘道館⇄第二観梅会場と二か所の会場で賑わい、間に水戸の市街地があって大変賑わっていた。→以前のような流れは、取戻せないのか。
下の写真駐車場案内システムは、平成初期の話である。(まちなか駐車場の案内)

- 提案1・・・市内の駐車場の料金体制を統一する。(カードも使えないか?)
提案2・・・公共も一般の駐車場も土日利用可能な所は、イベント駐車場として活用する。

②M【◎】まちなかへの誘導と標識の検討 身障者駐車場の案内と市内観光



(7) の写真



(1) の写真

(ア)の写真 現状と提言 岩間街道 県道 30 号見和 1 丁目付近
水戸市内駐車場案内システムが、中止になってから何年たっても撤去されない。
撤去経費予算が必要だが、「梅まつり」の駐車場案内誘導を行っている時期に
「稼働停止中の知らせ表示」又は「カバーを被せる」などして、観光客を迎
える姿勢をもつべきではないか！！

(イ) の写真 現状と提言 岩間街道 県道 30 号桜山 Y 字路付近
写真は、右に桜山駐車場への誘導案内のみである。
左方向は ①身障者駐車場の案内
※車イスや足の弱い人への案内をすべきではないか？
②偕楽園表門方向 ③歴史館方向 ④水戸市内弘道館方面 など
案内すべきではないか？ (※例：岩間街道の場合である。)

③M【◎◎】観光 まちなか景観の現状と案内

- ・ 駅前の地下の空気換気口周りの植栽除草が出来ていない。
(ペットボトルなどのゴミが長期に放置されている。管理検討)
 - ・ 駅周辺から银杏坂、南町 1 丁目に至る植栽の維持管理が放置され、
剪定できない年もあり、年に一度出来れば良いという状態
 - ・ 南町 2 丁目のモニュメントの落書き何年も放置
 - ・ 地下駐車場所出入りする外壁タイルの汚れ (コケ)
 - ・ 京成地下通路壁の汚れ
 - ・ 泉町 2 丁目まちなか掲示板の落書き、何年も放置
 - ・ まちなか商店の壁やシャッター/街灯柱や信号機の柱/変圧器などへ落書き
- 提案 1・・・各関係機関に対応の温度差があり、一丸となった対応がほしい。

～～観光とは、目的地に至るまでのアプローチが大切だ、

途中の景観や案内が出来ていないと、観光の魅力は半減する。～～

《《アプローチ→目的地に至る途中の景観/食事/お土産/係わる人》》

提案 2・・・JRにおいて、常磐大学付近(東原跨線橋付近)より、偕楽園公
園エリアに入ったあたりで、車内案内による偕楽園公園の紹介を
放送する。

「ただ今偕楽園公園エリアに入りました、この時期は〇〇が咲いていてきれいです。世界第二位の広さを持つ偕楽園公園、中心市街地近くでの自然や千波湖を借景に取り入れた日本遺産の借景公園は、他にはありません。是非偕楽園へ行かれて、好文亭の楽寿楼からの大パノラマをご覧ください。」などの放送をする。

※上記は例であり、時間と場所と内容については検討願いたい。

提案3・・関東鉄道バスにおいて、終点偕楽園は、「実態は、偕楽園下」で高低差があり足の弱い方には、「神崎寺前」下車で平坦な道「整備された：御成門通り」を通過して、常磐神社東鳥居から入って、偕楽園東門へ行くコースを紹介したい。

●現在の車内放送：「偕楽園にお行きの方は、終点の偕楽園でお降り下さい。」であり、神崎寺前では「偕楽園へお行きの方は、ここで降りますと高低差無く、常磐神社を通過して偕楽園に行けます。」としたい。

●また、雷神前バス停留所においては、「偕楽園の表門から入園されたい方は、ここでお降りになり前の信号の所の『好文亭表門通り』をご利用下さい。」・・・と、車内放送を提案する。

水戸市では、道路の名称募集を行い、偕楽園に隣接する「好文亭表門通り」・「御成門通り」の名称が付けられている、加えて電線地中化の整備事業もおこなわれ景観にも配慮された環境になっている。もっと、二つの通りを水戸市でPR発信し、好文亭表門の正門からの入園コースを紹介してほしい。(歴史ロードのコースにもなる通り)

④M【◎◎】観光客への対応

タクシーやバスの運転手に対する観光地教育・QRコード活用

偕楽園の魅力を理解してもらうため、本会で発行した「偕楽園なんでも百科」の熟読をお願いする。

例・・「梅の時期を外して来た観光客に、『水戸はこの時期何もねえよ!?!』」

↓ ↓ ↓ ↓ ↓

『偕楽園は、この時期〇〇がきれいだ、表門から入って森林浴、好文亭の楽寿楼から、見える景色は最高だよ!!・まちなかでこんな景色見られる所そうはないよ。行ってみな!!』などと、紹介してほしい。

提案・・バス停留所で降りたとき、偕楽園／その他の観光スポットへの案内図等を周辺停留所案内パネルに添付しQRコードで観光案内に活用する。

N：その他

①N【◎】 イベント・観光

いくつかの史跡をつないで、ウォーキングを楽しむ事業を、提案する。

提案1・・・日本遺産巡り（アとイの巡回マイクロバスの路線コースを検討する。）

ア) 弘道館と周辺を巡り日本最大の藩校の広さを散策

※藩校の施設のあった近くに、[案内板]と[当時と今の地図]を設置

イ) 偕楽園の陰陽の対比と**高低差の景観**を堪能する

提案2・・・歴史ロードの紹介・PRパンフレット

提案3・・・歴史ロード近くの各バス停留所にQRコードを活用した案内情報板を設置（**周辺観光案内地図のQRコード**）

提案4・・・水戸台地(水戸市内)の「**神社巡りウォーク**」、コース距離の検討

水戸東照宮・弘道館鹿島神社・水戸八幡宮本殿・保和苑回天神社

別雷皇太神・常磐神社・東湖神社 など

その他 吉田神社・笠原水源水戸神社・偕楽園桜山護国神社

②N【○】 イベント・観光 「梅の実収穫祭」

現在偕楽園では、梅の実の収穫時期に御成門を閉門し盗難を防いでいる。

偕楽園記に書かれている**禁止事項**に「**梅の枝や実を取ってはならない。**」

とあるが、個人で朝早く取って行く者がいて、拡張部の梅林は違反者が多く、「**梅の実を取らない事・禁止**」の張り紙があちこちに掲示されている。

****残念である！！****

提案1・・・県と水戸市と市民団体が協力し、「梅の実収穫祭」実施し、イベントとする。

提案2・・・収穫には、参加型(検討)にして張り紙も、「**梅の実収穫祭まで、大切に育てましょう。**」とする。イメージが変わると思う。

提案3・・・収穫して、何が出来るか、梅干し・梅焼酎・梅ジャム・カリカリ漬け・梅肉味噌 その他、それぞれの作り方紹介コーナーを設け、必要な品の販売も用意する。また、梅の実を使った商品だけを販売する・アイデア商品も可。梅加工の募集

提案4・・・その他、梅料理コンテスト 公園センターエリアを中心に芝生広場を活用していく。

③N【◎】観光交通 イベント・観光への道路白線の整備

普段でも道路の白線が消えているため、道路管理課へ報告しても予算が無いと管理対応が出来ない状態

現代の車社会において、交通安全の第一は白線整備・停止線であり、観梅や観光で来られる皆さんを安全に気持ち良くお迎えしたいものだ。毎年「梅まつり」前には整備をお願いする。

④N【◎】観光交通 偕楽園公園エリアへの侵入箇所の交通安全設備の整備

速度規制案内の充実<現在も、低地エリアでは、時速 40 km規制中>

公園内での JR/車の速度規制は、「公園内：低地エリアにおいては、余裕をもって走行すること。」とし、公園エリアの整備にどう反映させるか重要である。景観と観光・安全の面から、ガードレールや電柱・フェンス、標識柱そして、日本遺産等を考えたい。(遺産を守るべきエリアを確定する。)

提案・・・低地への侵入箇所へ「これより偕楽園公園エリアです。」の表示を行い、一般道との違いを意識させる・観光客は偕楽園公園エリアを意識する。

下記は、表示地点

- (1) 茨城県道 30 号水戸岩間線
 岩間街道 桜山 Y 字路の右路下り付近
- (2) 茨城県道 50 号水戸神栖線
 千波山を下り、ボウリング場跡地手前付近
 水戸梅戸橋千波方向、橋の手前付近
- (3) 茨城県道 342 号上水戸停車場千波公園線
 常磐陸橋千波方向、橋の手前付近
- (4) 水戸駅南口から梅戸橋方面
 千波大橋下路線の橋下付近
- (5) 文化センタ・近代美術館通りから千波湖へ
 湖畔道路入口付近
 文化センター入口交差点付近
- (6) 桜通り
 本郷橋交差点付近
- (7) 徳川ミュージアム付近
 徳川ミュージアム門前のカーブ付近 など



IV. まとめ

今回、偕楽園公園の魅力向上を、提言するにあたり、偕楽園公園の広さを実感した。内容が多く関係機関・関係部署も多岐にわたっており、偕楽園公園の魅力向上を日本遺産・観光で考え、開園当時を基本にするのか、借景景観エリアをどこまでエリア規制を対象にするのか、公園内の人工物を出来るだけ排除し、目立たない物へ統一するのかなど、個々の関係機関で行うのではなく、偕楽園公園内での統一が大切と感じた。

今回の提言を機会に、疑問・意見を共有しこれからの日本遺産や観光の整備の参考になればと思います。

追記、

提言をまとめている最中、平成30年1月22日新聞に29年度県政世論調査の結果、県民が知人に自慢したい話題ベスト10が発表された。

29年度	知人に自慢したいこと・もの	13位	偕楽園であった。
他年度	28年度	〃	11位
	27年度	〃	8位
	26年度	〃	7位
	25年度	友人に紹介したいもの	3位
	24年度	友人をどこに連れて行きたい	2位

若干の設問の違いはあるが、結果に驚き「魅力向上」をしっかりと見直さなければいけない。

今回提言項目が多かったことは、観光の姿勢や史跡名勝の魅力・自然公園の景観の魅力など、しっかり検討すべきとの問題提起であると思う。

1842年（天保13）7月好文亭竣工、偕楽園と命名し開園された。

2018年は、開園から176年を迎えるが、開園200年大きな節目となる2042年までの24年間で、「景観十年、風景百年、風土千年」と言われるように、景観は近年の暮らしを反映するもので利便性での整備であった様に思うが、風景や風土の時間軸である地域の歴史・文化に立ち返った整備を提言していきたい。

資料

- ・ 写真記録茨城の 20 世紀 ・ 水戸百年 ・ 水戸写真集明治大正昭和 水戸
- ・ 水戸いまむかし ・ 常磐公園攬勝図誌 …等より写真掲載
- ・ S46 偕楽園公園事務所「偕楽園とその管理」より抜粋
- ・ 商業開発研究所「みと」より抜粋 ・ 今年の「好文亭表門・桜山」

明治～大正～昭和の記録写真 色々



②偕楽園より望む千波湖(水戸市,大正期)



③初夏の好文亭(水戸市,大正期)



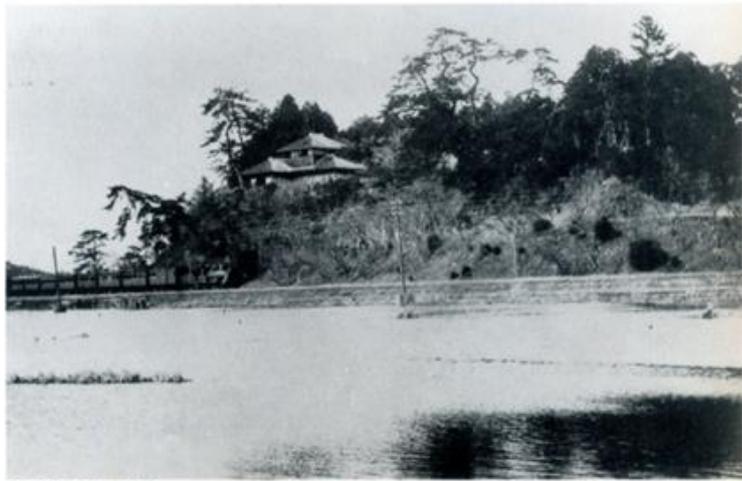
①偕楽園の千波湖と千波湖



寺社と名所
● 好文亭

大正13年に東野村神域に造成された偕楽園は29,960坪、樹形図互換を収めた「其亭子好立其樹子萬寿之云」(茨城名勝誌)とある。

④ 現在、偕楽園の下では千波湖周辺大規模公園が造成中だが、かつてはこのあたりも千波湖の一部であった。



④ 偕楽園台地の遠望

百年秋辰己
偕楽園



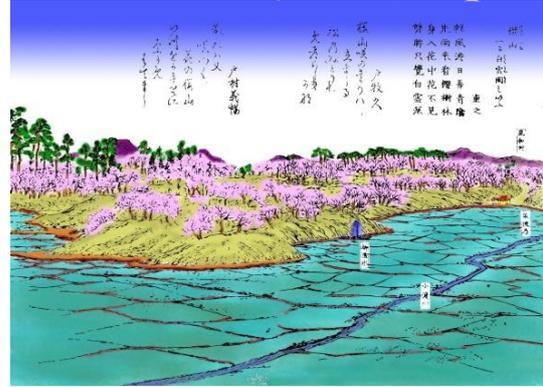
「偕楽園」の歴史と文化を伝える「偕楽園」の歴史と文化を伝える



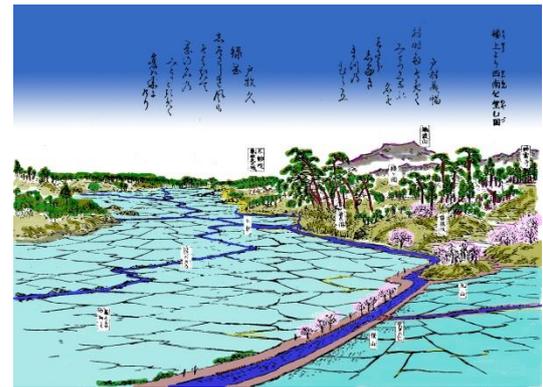
④ 昭和10年の観梅風景

「偕楽園・見晴広場の賑わい」

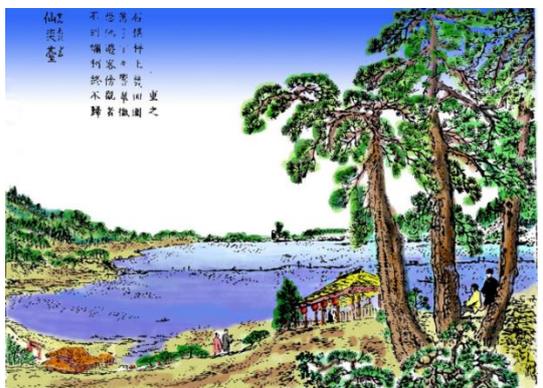
常磐公園攬勝図誌より、周辺の風景図



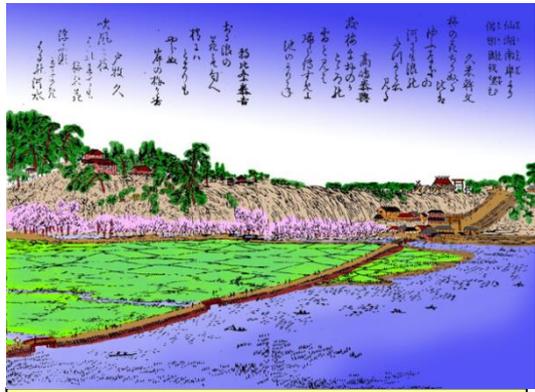
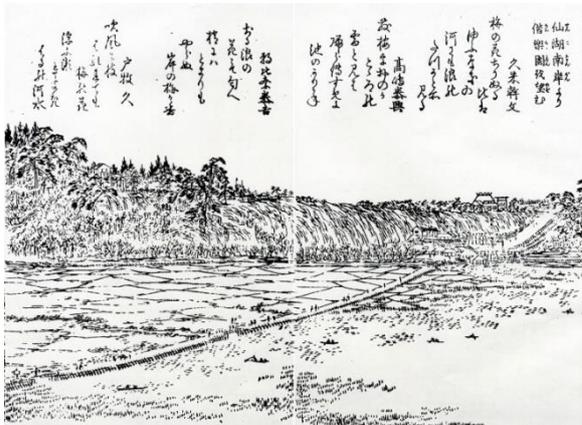
1 桜山を望む



2 好文亭の楽寿楼より南西を望む



3 借楽園の仙奕臺より千波湖を望む



4 千波湖南岸より好文亭を望む



5 桜山より好文亭を望む





桜山からの図誌と変わらぬ景観に、現在人工物・梅桜橋が、設置されている。





6 藤柄並木より水戸の上市を望む



7 梅戸崎より眼下の千波湖柳堤を望む

借楽園の魅力

二月三月の観梅の時期だけでなく、一年を通して借楽園の魅力を堪能頂きたい。

○借楽園の四季について

早春の梅花に続いて、

台湾緋桜、二季桜、山桜、こぶし、ぼけ、みつぎ、れんぎょう。

初夏のつつじ、さつき。

夏のふじ、あじさい。

初秋の野萩、宮城野萩。

中晩秋のどうだんつつじの紅葉、もみじ、椿、さざんか、二季桜。

その他、四季を通じて杉、松、つげ、青木等の自然の緑、檜、えのき、いちよう、にせあかしや等の大木、そして孟宗竹、寒竹の林相に加えておかめ、熊笹の叢帯、誠に自然の四季の美が観賞され得ましょう。

(借楽園の明暗)

更に追記するならば、行動に動、静のある如くものには明暗がある。何れの庭園、遊園にも明暗(又は、陰陽)の色彩が説明されているが、借楽園位その極が歴然としている所は少ない。

表門の陰の極に対するに好文亭以東の陽(常磐神社、東門は創建後である)、然かも陰の極は荘厳さにおいて日本木を代表する杉と竹によって形成され、陽の極はこれ亦、品格さにおいて日本木の代表である松と梅によって形成されている。

天翔、羽衣の巨松に短木の多行松、この常緑に配して見晴し広場という空間をはさんでの落葉の梅、梅樹は創建に際しての植林であるが極めて自然的な調和を表現する処、正に造園美の巧緻と称されましょう。

○借楽園の借景地について

借楽園は南面の千波湖、緑岡、遠く筑波山を展望する借景公園である。

○公園について

借楽園は創設と同時に毎月 3, 8, 13, 18, 23, 28 日は広く家臣、庶民の遊園に供されたことは有名で、当時のあの封建時代にこのように一般に開放されたのは民主思想のさきがけであり、斯る意味あいから公の遊園という意に解され明治 6 年公園法の制定に際し、東京の上野、浅草、芝公園と地方では只一つ水戸の常磐公園が指定されたものであったわけです。

(S46 借楽園公園事務所「借楽園とその管理」より抜粋)



平成30年4月撮影 好文亭表門

水戸の四季

偕楽園周辺の眺めは四季をそれぞれに散歩の地として人人が足を運ぶ、

春は白雲たなびく桜山あたり、

夏は湖上に舟を浮かべ、

秋は名月を賞で、冬は雪景を訪ねると、

たしかに藩内唯一のすぐれた景観である。

商業開発研究所「みと」より抜粋



平成30年4月撮影 桜山(白雲山)偕楽園からの撮影ポイントが失われた！！

「偕楽園公園の魅力向上を考える」
水戸市の日本遺産と観光への提言
平成 30 年 4 月

発行：偕楽園公園を愛する市民の会
(魅力向上委員会)

〒310-0845 茨城県水戸市吉沢町 2-22
電話・FAX：029-247-0438